



タイトル

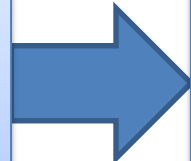
所属

名前

メールアドレス

開発における問題点

ここでは、今回の修了制作で解決した開発における課題・問題点について述べる。例えば「XXシステム開発の際に、セキュリティ上の攻撃とそれに対する対策を系統的、網羅的に分析する必要がある」といったもの。「YYアプリに機能Aがなかった」等アプリケーション自体の問題点ではないことに注意する。



手法・ツールの適用による解決

ここでは、左で挙げた問題について、どのような手法・ツールの適用や提案によって解決したかを述べる。手法・ツールの名前を出すだけでなく、性質を明示し問題との対応がわかるようにする。例えば「達成目標を分析してシステムの構成要素を導出する系統的な方法を定めた要求分析手法KAOSを用いて・・・」といった感じ。

ポスターの構成

上の概要のタイトルも必要であれば変更してください。人によっては「適用」ではなく「拡張」「提案」「連携」等となると思います。ある程度であればマスタの方の大きさを変えていただいても構いません。

このフォーマットはA3になっていますが、実際にはポスターA0印刷、配布用A4印刷を行います。文字の大きさは最低13pt程度としてください。

概要より下の部分の構成(スペースの分割等)についてはお任せします。フッタは残して下さい。

注意点

Webにてアクセス制限なく公開するものであることに留意して下さい。

- 審査会での発表とは異なり、外部の方々・TopSEのツール・手法を知らない方々も対象となるため、
 - ・モデリング方針
 - ・ツールの設定
- 等の詳細よりも、
- ・その手法・ツールは何ができるか
 - ・端的には、その図は何を表しており、その図を使って何をしたのか
- といったことを概念的に説明することとなります。

提出

LMSから提出して下さい。

- 最終的には3月の修了式等のイベントにて、(上司の方々や外部の来賓にも)掲示します。
- ・こちらで印刷時の様子を見て多少レイアウト等調整を行う可能性があります。
 - ・印刷はNIIで(事務局が)行います。印刷結果を事前にご自身で確認されたい場合 ご相談ください。

システム性能低下要因の自動検出

～アプリケーション性能低下の要因分析自動化に向けて～

NTTデータ先端技術株式会社

吉川 拓哉

yoshikawatky@intellilink.co.jp

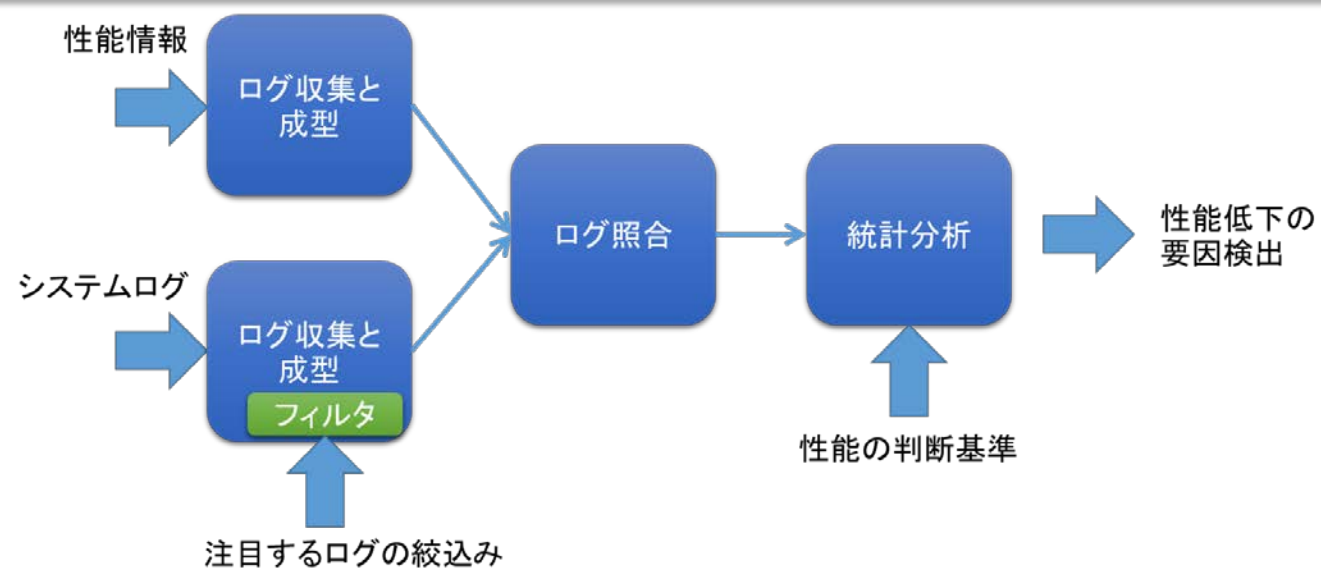
分析における問題点

運用中のシステムの性能低下要因をシステムログに残された情報から分析する場合、膨大なログ項目を個別に時系列に沿ってグラフ化して分析するのは困難であり、分析の客観性という点でも問題がある。

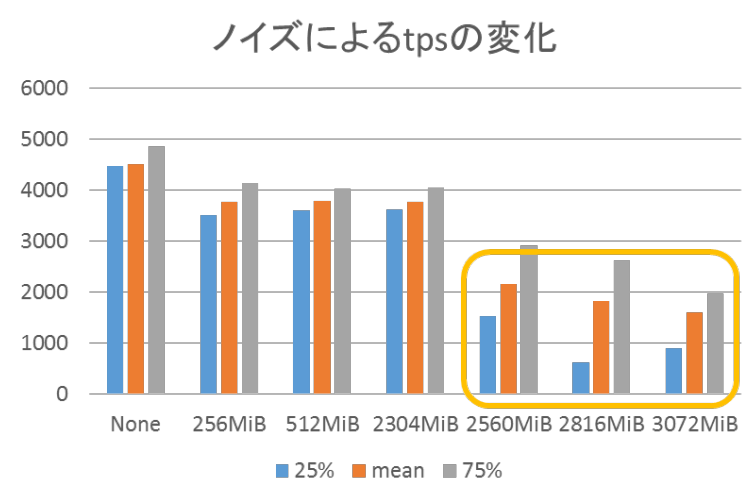
手法・ツールの適用による解決

性能値とシステムの状態を示す項目値を個別に確認するのではなく、ログを照合することにより<状態, 性能値>を各時刻について収集し、各状態における性能特性を統計的に分析することにより問題を半自動的に解決する。

分析のワークフロー



動作プロセスログとの照合例



メモリ使用量ログとの照合例

